



高西小だより

H25, 10, 25(金) 校長:古屋 NO10

学校教育目標
夢を切り拓く
心豊かで
たくましい子ども

台風27号の日本列島通過で、10月に入って4個目となり、統計開始の1951年以降最多という報道がされています。この原因は、太平洋西部熱帯域の海面水温が高いことによるそうですが、伊豆大島の甚大な被害をはじめ、人々の衣食住にも数々の影響を及ぼしています。

本校においても、先日の16日には、台風26号の接近で始業時刻を2時間遅れとしましたが、この時期の時刻変更は、これまで例がありません。地震だけでなく、雷雨、竜巻、大雨等の「想定外」の自然現象に対応して生きてゆくには、「これまでは」という慣習はぬぐい去る必要があります。科学的データが発達した今日においても、このような大きな被害が出るのはなぜでしょうか。

「畏敬の念」という言葉がありますが、この言葉の意味は、「畏れて敬う心情のこと。つつしみをもって相対する心情」とあります。かつて人類は、自然に対し畏敬の念を持って生活してきましたが、現代の科学技術の進歩と共に機器に依存する「人類優位」が浸透し、自然に対する恐れおののくことをいつしか忘れつつあります。自然現象に対し、人類は常に「備える」「対応する」という受け身に立たざるをえませんし、ある程度の予測は可能としてもその自然現象を無くしたり変更したりすることができません。やはり、自然現象は、「何が起こるか分からない。立ち向かうことのできない強く怖いもの」とであるという認識を私たちは真摯な心で持つことが大事です。そして、何よりも命を守るキーポイントは、機器ではなく、今生きている地域の「人と人の繋がり」であることは言うまでもありません。

行事が目白押し！ ステップアップの大きなチャンスです。

9月28日に行われた秋季大運動会には、保護者の皆さんをはじめ、たくさんの方々にご参観頂きまして誠にありがとうございました。最高の気候条件の下で実施することができ、とても嬉しく思いました。子どもたちの健康や持ち物・服装などについてもご配慮いただきまして深く感謝申し上げます。

右の写真は、5・6年生の表現「GUTS 2013」ですが、今年の運動会は、まさしくこの姿を象徴していました。6・5・4・3・2・1の体形。この中の一人でも崩れると全てが壊れてしまう体形です。6年生を中心として、「ひとりみんなのため、みんなはひとりのため」という「心の絆」が表現されていると言ってもいいでしょう。



各行事は、ステップアップの大きなチャンスです。今年の運動会も、子どもたちにとって居場所や役割があり、自分なくてはならない存在、必要とされている存在なんだと感じる自己存在感や効力感を体得するよい機会となったことと思います。

PTA役員及びPTA会員の皆様には、後片付けや準備の係としてもお手伝い頂きまして誠にありがとうございました。

田んぼの学校で稲刈り・脱穀！ (5年生)

4日に稲刈り、11日には脱穀が行われました。今年も山本さんをはじめ、小池地区の「お姉さん」方にお手伝いを頂きながら、稲の刈り方、束のまとめ方、牛の掛け方などを教えてもらいました。

毎年も、「げーろ」「けける」などの方言や「この景色や臭いをよく覚えておくんだよ」といった言葉かけに米作りだけではない地域に生きる人としての温かさを感じました。



牛も子どもたちの背の高さに。



脱穀も全員が体験しました。



すごい力持ち！この人だれ？

創作能「杜の湧水」公演 感動的な幕切れ！

20日、高根ふれあい交流センターでこども能の公演が行われ、涙、涙の感動的な終演となりました。

思い起こせば、国民文化祭の事業として、「甲斐の国こども能」を実施するにあたり、5月30日、観世流能楽師佐久間二郎先生にご来校頂き、全校児童対象に「能楽」について基本動作などを体験的に学びました。そして、こども能への参加希望を募り、興味を持った5年生3人、4年生7人の10人が申し込み、これまで、5か月間にわたり13回の稽古をしてきました。最初は、佐久間先生お一人で指導していただいたので、個別指導の場面では、集中して練習に身が入らず、先生もとても心配だったようです。しかし、10月になり、通しの稽古に入ると、日増しに子どもたちの気持ちが高まり、熱の入った稽古になってきました。

そして本番、客席は300人程の大観衆となりました。プロのお囃子の中、本物の高価な衣装をまわって演じる姿には、すごい緊張感が漂ってきました。観る私も保護者も同じでした。でも、子どもたちは、練習の成果を遺憾なく発揮し、見事な演技を披露しました。演技後には拍手が鳴り止まず、もう一度全員が舞台上に登場しました。佐久間先生は、感動や安堵感で涙、涙で言葉を発することができない程でした。

ユネスコの世界文化遺産に登録されている伝統芸能「能楽」。これまで能について何も知らなかった子どもたちが実際に能を演じる、そして、その姿を多くの方々が観ることを通して、能が大成した約650年前の室町時代から続く日本の伝統芸能の美しさ、神秘さを学ぶ素晴らしい機会になったと思います。佐久間先生をはじめ、子どもたちを支えて頂きました保護者の皆様に深く感謝致します。



本番間近の稽古です。



当日の衣装はプロの方の手で。



佐久間先生に感謝の花束を。

360度パノラマ！快晴の青空の下で飯盛山登山！（自然教室）

17日～18日の一泊二日で5年生が恒例の自然教室に行ってきました。台風の影響を心配しましたが、5年生のパワーでその台風を追い払い、見事な秋の青空となりました。出発式の終わりに、プールの駐車場から見える飯盛山を指さし、「今からあの山に登るんだよ！」という話しに子どもたちの気持ちも徐々に高まる中、登山口の平沢に向かって出発しました。

順調に登り切り、頂上から眺める360度パノラマの景色。南側の富士山は見えませんでした。西にはハケ岳、東に瑞牆山、北に浅間山と大自然の雄大な美しさを体感しました。お弁当も山頂付近で食べましたが、あっという間に食べ終わりました。その後、しし岩に下山し、バスで清泉寮、自然ふれあいセンター、やまねミュージアムに移動しました。（この後は、次回の学校だよりにつづきます）



1653mの飯盛山の山頂は壮快！



鹿の角の大きさで年齢が分かりました。



ソフトクリームはうまかった！

自然教室に向けて、フォークダンスを教えて頂きました。

9日、5年生が高根町フォークダンス部の方々（代表の伊東様をはじめ10名ほど）に来ていただき、いろいろなフォークダンスを教えてもらいました。最初硬かった子どもたちも徐々にノリノリとなって踊り、笑顔いっぱいの楽しい一時を過ごしました。

そして、キャンプファイヤーでは、その踊りがさらに盛り上がり、思い出深い1ページとなったことは言うまでもありません。

